

平成 22 年 6 月 8 日

## 電通と東大、ネットとシニア層の関係を研究する産学共同研究組織

### 「DENTSU デジタルシニア・ラボ」を発足

株式会社電通（本社：東京都港区、高嶋達佳、以下 電通）は、長年、コミュニケーション論的観点から日本人の情報行動を分析してきた東京大学大学院情報学環の橋元良明教授と共同で、ネットやデジタルイノベーションとシニア層との関わりについて専門研究する「DENTSU デジタルシニア・ラボ」を、6月8日に発足させました。

60才以上のシニア層は、昨今の厳しい景況下においても堅実な消費の伸びを示しています。また10年後には、65歳以上の高齢者が人口の約3割に達するとも言われています。（内閣府「平成22年版高齢社会白書」）

電通では、企業のマーケティング活動においても重要なターゲットとなるこのシニア層に着目し、とくに60代以降でネットやデジタル機器を自由に使いこなすアクティブなシニアライフを生きる生活者を「デジタルシニア™」と名付け、彼らのメディアライフや情報行動の実態について、東京大学と共同で研究して参りました。

既に実施したグループインタビュー調査などからは、「時事について自分の見解を交えツイッターで情報発信する」「“おやじバンド”での活動をネット動画サイトで発信する」「別々に暮らす子供達の動静をブログでチェックする」「IP電話を利用して遠くの孫と“しり取り”をして遊ぶ」など、シニア層のライフスタイルがネットやデジタルイノベーションの進化により急速に変化しつつあることが窺えます。

このような研究を背景に、さらに、「デジタルシニア™」とネットの関係についてのインサイトを深めるため、電通は、MCプランニング局メディアイノベーション研究部内に事務局を置き、東京大学・橋元研究室と連携した産学共同研究組織として「DENTSU デジタルシニア・ラボ」を立ち上げました。同ラボでは、ツイッター上で現在世界中に5,000人を超えるフォロワーを持つカリスマシニアのミゾイキクコ氏にもアドバイザーを務めて頂きます。

今後、「DENTSU デジタルシニア・ラボ」では、アンケート票式のベンチマーク定量調査などを実施し、様々な仮説の検証結果を発表していく予定です。

また、デジタル時代におけるシニアの詳細なインサイト提供から、デジタルイノベーション

が切り拓くシニアライフ向上に関する社会への提言、そしてビジネス開発に資するコンサルティングまで幅広い情報発信を行い、シニアを基点とした社会の活性化を図っていきます。

<プロフィール>

●橋元良明氏

東京大学大学院情報学環教授。1955年京都市生まれ。1978年東京大学文学部心理学科、1982年同大学大学院社会学研究科修士課程修了。コミュニケーション論、社会心理学専攻。一貫して、日本のコミュニケーション状況、メディア環境の変化を実証的に探求している。

著書・論文に『背理のコミュニケーション』（勁草書房）、『コミュニケーション学への招待』（編著、大修館書店）、『ネットワーク社会』（編著、ミネルヴァ書房）、『メディア・コミュニケーション学』（編著、大修館書店）等多数。

●ミゾイキクコ氏

1934年生まれ。埼玉県東松山市。趣味は茶道、園芸、料理、写真、太極拳。

ツイッター上で現在世界中に5,000人を超えるフォロアーを持つ。

---

<本件に関するお問い合わせ先> ㈱電通 MCプランニング局 デジタルイノベーション研究部内  
「DENTSU デジタルシニアラボ」長尾、庄野 03-6216-8093